

■コンタクト接点付機構・動作例

<p>■上限1接点式 上昇してON</p> <p>黒針 赤針</p>	<p>■下限1接点式 下降してON</p> <p>青針 黒針</p>
<p>■上・下2接点式 上昇又は下降してON</p> <p>青針 黒針 赤針</p>	<p>■上・下2接点キーリレー式 (自己保持型)</p> <p>青針 黒針 赤針</p>
<p>■上・上2接点式 上昇時2段階にてON</p> <p>黒針 青針 赤針 上1 上2</p>	<p>■下・下2接点式 下降時2段階にてON</p> <p>赤針 青針 黒針 下2 下1</p>

■型式組合せ表

ケース形状	標準立て型 75φ, 100φ, 150φ	AU		
壁掛型	75φ, 100φ, 150φ	BU		
パネル埋込型	ビス止め式 75φ, 100φ	DU		
パネル埋込型	裏バンド式 75φ, 100φ, 150φ	DBU		
屋外防滴型	100φ のみ	WA		
1 接点付			E	
2 接点付			2E	
接続ネジ: 各種サイズをご指示ください。P.2			(例) R3/8	
ケース大きさ				75φ
				100φ
				150φ

(注) 圧力、連成、真空範囲は P.5、微圧計は P.12 の表の中からお選びください。
接液部材質、接点種類は P.16 参照

■各種接点方式比較表

	特 徴	問 題 点
コンタクト接点 P.15~18	<ul style="list-style-type: none"> ●接点入切精度が高い。 ●接点の点検、保守がしやすい。 ●無電圧スイッチ。 ●価格が安価。 	<ul style="list-style-type: none"> ●接点容量が小さい。 ●接点投入時にチャタリングが発生しやすい。 (専用補助リレー ER-7 型で対応) ●振動のある場所には不向き。 ●シーケンサー接続には不向き。
マイクロ接点 P.19~22	<ul style="list-style-type: none"> ●接点容量が大きい。 ●接点の耐久性が優れている。 ●多少の振動に強い。 ●無電圧 A・B 接点内蔵。 ●接点信号変換器と組合せて防爆対応になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●圧力範囲により接点に接断差がある。(FS 2~8%) P.20 参照 (但し接断差を利用して圧力調整ができます。) ●圧力設定はその都度ケースのフタを開けて行う。
光電スイッチ P.23~26	<ul style="list-style-type: none"> ●非接触型接点のため、接点に誤作動が無い。 ●接点疲労が無いため、長寿命である。 ●多少の振動に強い。 ●シーケンサーに直結可能。 	<ul style="list-style-type: none"> ●操作電源が必要。 ●圧力設定はその都度ケースのフタを開けて行う。

■ターミナル BOX 内の端子台の外し方

①固定ビス

②端子台

BOX本体

電線取り出し口

①固定ビスを BOX から完全に抜き取ります。
②BOX 内の端子台の片角を、マイナスドライバーの先で掘り起こして取り出します。
または固定ビス用の穴を強く押しでも端子台は抜けます。
●電線取り出し口は上・下・右・左の4方向に変える事ができます。